

地域づくり計画

地域で掲げられている目標	理念:障がいのある人もない人も、ともに暮らし続けられるまち ～あいとびあ狛江～					
チームで掲げる目標	行動障害のある重度知的障害児(者)が安心して地域で暮らし続けるための受け皿をつくりたい					
地域課題	地域課題の分解	活用する社会資源	どのように活用するか	いつまでに達成するか	相談支援部会の役割	検討会議・協議会の役割
児童期の強度行動障害のある方に対しての認識が薄い・資源が少ない 対象:18歳未満の強度行動障害のある方	支援の仕方や現状を把握する認識が薄い →知るための手立てがない	事業所連絡会 自立支援協議会	事例として取り上げていく(生活支援の課題を考える部会の事例検討会等)	令和8年度末	自立支援協議会に協力する 18歳未満の強度行動障害の住人数やその支援状況等の調査に協力する	資源について現状の把握をする
市内で強度行動障害に対応できる事業所が少ない 対象:成人・子どもの強度行動障害のある方	資源の調査 狛江市内の居宅介護の中で強度行動障害に対応できる事業所やスタッフの実態が不明	事業所連絡会 自立支援協議会 高齢障がい課	強度行動障害の加算について支給決定を尋ねる	令和8年度末	強度行動障害の支援に対応できる社会資源の調査に協力する(子ども・成人含む全年齢)	調査の内容や手法について検討・判断していく
児童期に学校とつながるための会議を日常的に開くことが困難(狛江市で十分にトラサポの活用できていない) 対象:特別支援学校に通う子ども	特別支援学校と地域福祉との連携が課題 →定期的な会議の開催を目指す	・調布特別支援学校 ・府中けやきの森学園 ・福祉相談課 ・自立支援協議会	(個別ケースの)定期的な会議の開催ルールを決める	令和9年度末	(個別ケース会議の)定期開催のルールを検討する	生活支援の課題を考える部会が検討したものをチェックする
強度行動障害のある方の家族同士のつながりやサポートが不足している 強度行動障害のある方の家族一定期的な集まりがない 対象:成人・子どもの強度行動障害のある方	家族同士のつながり方を支援者が認知していない	手をつなぐ親の会 ペアレントメンター チラシ/パンフレット フライヤー	チラシの配布と説明 親の会に協力を求める ペアレントメンターを周知する 市の窓口に確認する 市民に知ってもらうための研修や講演をする	令和9年度末	チラシの作成 関係機関に協力を要請する	地域課題として共有する